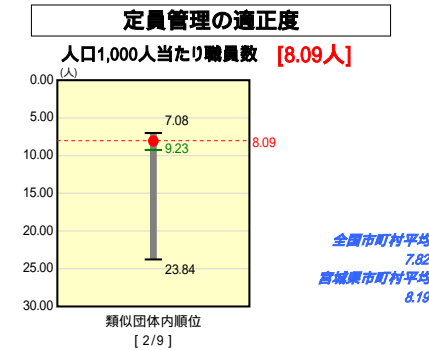
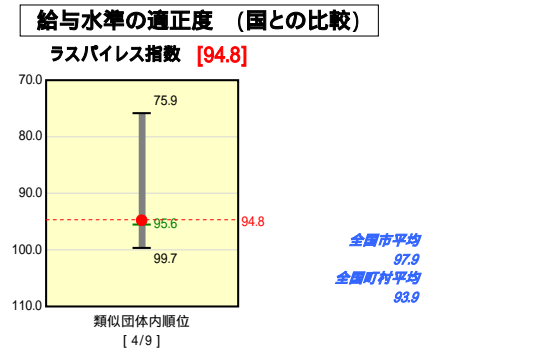
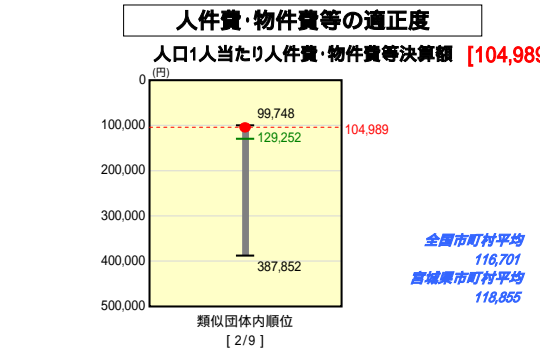
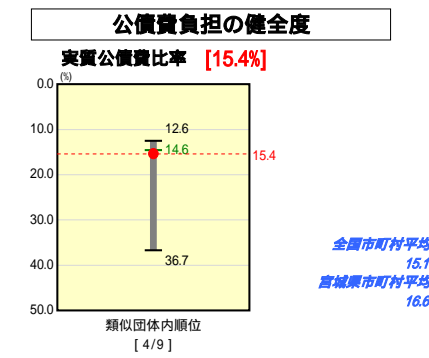
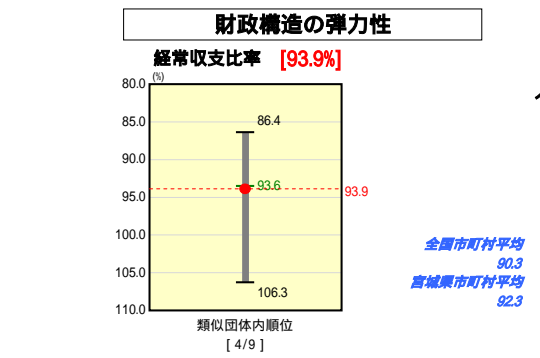
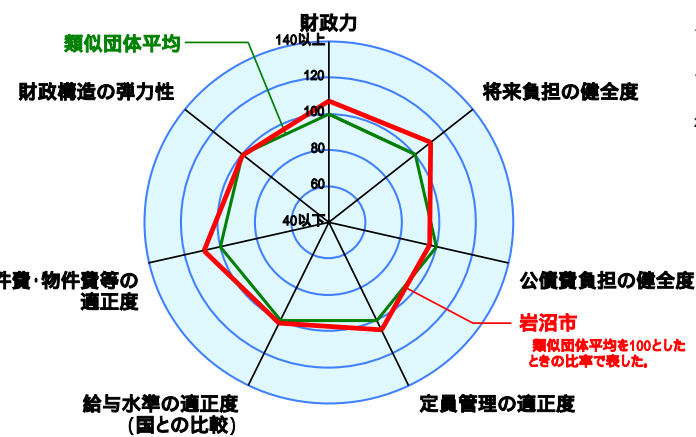
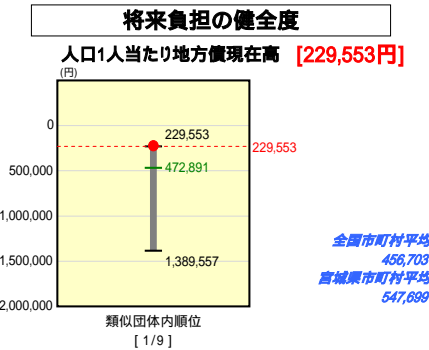
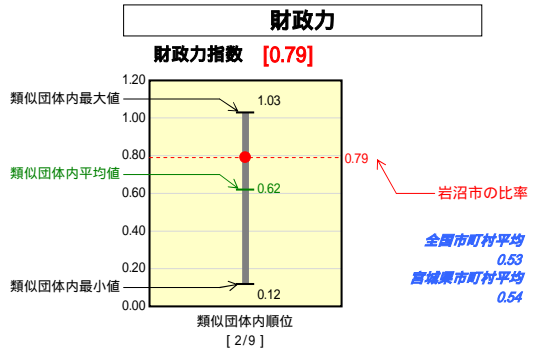


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 岩沼市

人口	44,231	人(H19.3.31現在)
面積	60.72	km ²
歳入総額	12,715,847	千円
歳出総額	12,215,464	千円
実質収支	446,739	千円



分析欄

財政力指数
ここ数年は連続した伸びを見せている(H14:0.73, H15:0.75, H16:0.77, H18:0.79)が、財政調整基金を取り崩すなど、経常的な歳入の確保が厳しい状況である。今後も市税を中心とした歳入の確保と経常的な歳出の削減に努める。

経常収支比率
類似団体や宮城県内の各市町村とほぼ同水準の経常収支比率である。岩沼市の場合、人件費・物件費などの比率が高く、公債費などは低い比率となっている。また、平成18年度は繰出金にかかる比率が大幅増(H17:9.1% H18:13.4%)となっており、これが全体としての比率を高める要因となっている。人件費に係るものが34.2%と引き続き高い水準にあるため、今後も引き続き、定員適正化計画に基づく職員数削減に取り組む。また、物件費についても、事業の統合など業務のスリム化、効率化を促進させるなど、抑制に努める。繰出金の比率の大幅増は、平成18年度決算において、下水道事業の料金改定により経営体質は改善され、繰出金総額は減額したものの、経常経費とされる基準内繰出金の割合が大幅に増加したためである。今後は下水道事業会計の公営企業会計への移行を検討するなど、経常経費削減の努力を継続する。

実質公債費比率
実質公債費比率は15.4%であり、平均値とほぼ同水準である。今後も引き続き18%以下の水準を保つよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
平均値を下回る数値となっている。今後も引き続き同水準を保つよう努めるが、「経常収支比率」欄に記載したとおり、人件費・物件費の経費の削減及び受益者負担の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高
平均値を大幅に下回る数値となっている。平成19年度からは大型建設事業が平成24年度まで続き、新規の地方債発行を見込んでいるが、引き続き元利償還額の抑制や平準化に努める。

人口1,000人あたり職員数
類似団体平均値をやや下回る状況にある。職員数定員適正化計画(5ヵ年計画)に基づく定年退職者の不補充や民間委託の推進等により、平成22年4月1日までに職員数を6.7%削減する。

ラスパイレズ指数
類似団体の中で平均的な水準にある。今後も国、県、地域の民間企業等の給与の状況を踏まえ、一層の給与の適正化に努める。